

同友会

第9期・全14講義

大学

何事も経営も「理論と実践」。
例会が実践であれば大学は理論。
本物に触れ、基本を学び応用する。
これぞ経営の本道なり。

2019年
7月19日(金)
開講

時代認識をしっかり持ち、主体的に生きるための総合的な人間力を高める

同友会大学とは

経営は科学だ。

激動する現代社会ほど科学的経営が希求されている時代はないでしょう。学者・研究者は、その人生を賭して各分野の真理の発見に日夜努力しています。確かに、経営学を始めとする社会科学では未究明だったり解釈が分かれる分野もあります。しかし、世界中の学者・研究者による永きに亘る研究の中で、異論のない、碁であれば定石のような研究成果は少なからず存在します。

経営者・経営幹部であれば、あたかも未来を歴史から紐解くように、各研究成果からこうすればうまくいくという定石を学ばない手はありません。**極めて合理的かつ効率的に、そして科学的に経営を学ぶ場**、それが同友会大学に他ならないのです。

同友会大学の目的

同友会大学は、会員経営者自身及びその幹部従業員等が、常に変革する時代や社会を正確に認識し、先見性と使命感、決断力を以って経営を推進していくための学びの場として創設されました。

支部例会での学びとは異なり、講師として、第一線で活躍する**大学教授、研究者、専門家を招き、本物の学問や研究、理論に触れながら経営を学ぶ**、まさに「大学」と位置付けています。

経済学、経営学、会計学、法律学、教育学、政治学、金融学、社会学等の科学研究の最先端の到達点から、自社の経営を深く考え学ぶ機会を提供します。

デキる経営者の最終学歴は「同友会大学卒業」であってほしいと願っています。

受講を希望される方へ ～よくお読み下さい～

◆受講資格

中小企業経営者、中小企業の経営幹部または幹部候補

◆試験・課題レポートの提出と成績評価について

各講義終了後、課題レポートを提出していただきます。講義ごとの試験等はありませんが、提出された課題レポートは担当講師及び大学委員が確認させていただきます。

◆卒業認定と卒業論文の提出について

全講義を通じて8割以上の出席率がない場合には卒業を認めません。かつ、全講義を通じて8割以上の課題レポートの提出がない場合には卒業を認めません。卒業にあたっては卒業論文を提出していただきます。卒業論文の提出がない場合には卒業を認めません。

◆基本書、参考書等の購入について

各講義でのレジュメ等の講義資料の配布は無料で行いますが、基本書や推薦図書、参考書等の購入は原則受講生負担となります。

◆同友会大学の目的や趣旨をご理解の上、受講下さるようお願いいたします。また、従業員が受講を希望する場合には、事前に受講者本人と同友会大学の目的や趣旨についてよく確認の上、受講していただきますようお願いいたします。

第9期・受講生募集!

◆受講料 (全14講義)

同友会会員企業 お一人 49,800円

一般参加 お一人 79,800円

※1講座ごとのスポット参加は各8,000円、一般は各10,000円

◆会場

千葉県中小企業家同友会事務所・5階共用会議室
京成線「千葉中央駅」より徒歩1分

千葉市中央区富士見2-22-2千葉中央駅前ビル

※第1回講義(オープン講座)のみ 三井ガーデンホテル千葉

◆時間 18:00 ~ 21:00

◆定員 30名(入試はありません。申込順となります)

◆応募締切 2019年7月19日(金)

◆第1回講義（オープン講座）世界経済の現状と今後の展望

第1回講義は、本講の受講に関わらず、どなたでもご参加いただけます！
本講座の説明も行われますので、ぜひお誘いあわせのうえご参加ください。

日 時：2019年 7月19日(金) 18:00～21:00

会 場：三井ガーデンホテル千葉 千葉市中央区中央1-11-1（JR「千葉」駅、京成「千葉中央」駅より徒歩7分）

参加費：2,000円（第1回講座のみに参加する方）※大学受講者は受講料に含まれます。



明海大学経済学部
准教授
宮崎 礼二氏

1965年生まれ。米国の大学を経て、横浜国立大学大学院にて、国際経済学・国際開発政策等を専攻。千葉県経営研究集会記念講演講師、中小企業問題全国研究集会の講師等を務める。

目の前で起きている事象は、実は世界経済と連動していることも少なくありません。世界の経済がリンクしている現代グローバル社会においては、中小企業だからといって世界経済の動向に無関心ではられません。

先行き不透明な世界経済の見通しやグローバリズムの進展による光と影など、経営者としておさえておきたい世界経済の現状と今後の展望について静止画的に理解するのではなく、動画的にストーリーとして分かりやすくナビゲートします。

キレ味鋭い宮崎氏とともに、世界経済の大海原を旅する心地よい時間をお約束します。

◆本講座 カリキュラム

※会場は第1講のみ三井ガーデンホテル千葉、第2講以降は千葉同友会事務所（詳細は表紙をご参照ください）

※講師の都合により日程が変更になる場合があります。

単元	開催日時／講師	講義テーマ
Ⅰ 世界と日本の経済	8月2日(金) 18:00～21:00  (一社)SDGs市民社会ネットワーク 業務執行理事 (一社)環境パートナーシップ会議 副代表理事 星野 智子氏 これまでに環境・開発に関する国際会議や「国連持続可能な開発のための教育(ESD)」の推進、生物多様性COP10やG7サミット、環境大臣会合等における環境NGO活動をサポート。現在NPO法人アフリカ日本協議会、(一社)海外環境協力センター、NPO法人日本NPOセンター、(一社)SDGs市民社会ネットワークの理事、持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPOネットワーク(SUSPON)副代表を務める。	第2講 SDGs 持続可能な開発目標 「SDGs(エスディーゼーズ)」をご存知ですか？「SDGs」とはSustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称であり、2015年に国連サミットで決められた国際社会共通の目標です。2030年を達成目標とし、17のゴールがあります。なんだか遠くで誰かが行っているように聞こえますが、実は<働きがい>や<経済成長>など中小企業でも抱える課題目標があり、このSDGsに取り組んでいる中小企業が少しずつ増え始めています。「私たちの経済活動は、自然の下支えの元に成り立っている」という考えのもと、今回は星野氏にこの「SDGs」を詳しく解説していただき、事例なども交えながら、どのような活動が当てはまるのか？など知識と理解を深めたいと思います。持続可能な社会をつくる、この国際目標を「人を生かす経営」に活用してみませんか？
	8月23日(金) 18:00～21:00  慶應義塾大学経済学部 教授 植田 浩史氏 1984年東京大学経済学部卒業、1989年東京大学大学院経済学研究科第二種博士課程単位取得退学 大阪市立大学、大学院助教授を経て、2006年慶應義塾大学経済学部教授。2004年度中小企業研究奨励賞本賞受賞。中同協企業環境研究センター副座長。	第3講 日本経済の現状と課題 経営に携わる者であれば、誰しもが気になる日本経済の行方。アベノミクスの今後はどうなるのか。一方で、異次元の金融緩和と政策、マイナス金利などが様々な分野に影響を与えています。他方で、地域GDPに貢献できる地域金融機関を育成するとの金融庁の大方針転換が、真摯な経営努力を続ける中小企業にとって追い風ともなっています。さらに、これからの経済を大転換させる可能性を有する「第4次産業革命」と称される大きな動きからも目が離せません。中小企業家として、日本経済の現状、動向、行方など、是非とも聴いておきたい内容です。
Ⅱ 中小企業と地域	9月6日(金) 18:00～20:30  (株)ちばぎん総合研究所 取締役社長 水野 創氏 1952年東京都生まれ、1975年東京大学法学部第1類卒業後、日本銀行入行、文書局長、システム情報局長、業務局長を経て、2006年日本銀行理事就任、2010年退任、(株)ちばぎん総合研究所顧問就任。現在、取締役社長を務める。	第4講 千葉県の産業の特徴と今後の課題 中小企業は、地域と運命共同体です。地域の活性化や地域経済振興は、我々中小企業の業績と密接不可分です。千葉県で生きる我々は、まず地元・千葉県のことをよく知らなければなりません。 千葉県のことをよく知る同氏から、多彩な視点を織り交ぜながら、千葉県の産業の特徴と中小企業への期待を込めた課題についてお話いただきます。

時代認識をしっかりと持ち、主体的に生きるための総合的な人間力を高める

単元	開催日時／講師	講義テーマ
II 中小企業と地域	9月20日(金) 18:00～21:00  拓殖大学政経学部 教授 山本尚史氏 経済学博士（ハワイ大学）、公共政策学修士（プリンストン大学）、筑波大学卒業。地域経済活性化政策を研究。『地方経済を救うエコノミックガーデニング』を出版。大学での担当科目は、日本経済論（学部、大学院）、開発経済学（学部）など。	第5講 中小企業と地域づくり（地域産業論） ～いかに地域の実情・特徴をつかみ、中小企業振興による豊かな地域をつくるか 地域とともに自社も輝く経営とは。中小企業は、どうすれば地域で輝き、地域の軸となりえるのか。それには地域の実情と特徴を正確に認識するとともに地域特性との関連の中で自社のポジションを考えることが大切です。全国各地で自治体と中小企業などの協働によるエコノミックガーデニング（企業家精神あふれる地元の中小企業が活躍できるビジネス環境を創出し、地元企業を成長させることにより地域経済を活性化させる政策）を推進してきた経験から、地域で輝く中小企業経営・中小企業振興につながる産業政策について、豊富な実例を交えながら熱く語っていただきます。
	10月4日(金) 18:00～21:00  (株)オカムラホーム 会長 岡村大作氏 株式会社オカムラホーム 創業/1995年、資本金/2500万円、社員数89名（内パート・アルバイト8名）、事業内容/分譲住宅・リノベーション事業・注文住宅事業・不動産仲介事業、年商/56億円。	第6講 中小企業と地域づくり（事例編） ～地域に愛され、生かされる企業づくりの実践 八千代市の地元密着の不動産業として地域に愛され続けている(株)オカムラホーム。「風見鶏の家」というキャッチコピーでも有名です。同社では、人口減少で市場が先細りする中で、顧客の暮らしに合わせたきめ細やかな提案や、趣味を生かせる家、遊び心のきいた家などコンセプトのある住宅づくりなど様々な取り組みを行っています。また海外展開にも早くから挑戦してきました。先を読む経営の原点に「同友会での学びがある」と語る岡村氏。どのように同友会の学びを生かしてきたのか、また、経営者としての覚悟や決断をどのように考えるか？地域と共に歩む中小企業の実践を大いに語っていただきます。
III 経営戦略と企業づくり	10月18日(金) 18:00～21:00  千葉商科大学人間社会学部 准教授 増田明子氏 早稲田大学商学部卒業。マーケティング、消費者行動論を担当。住友商事勤務を経て、イタリアにてMUJI ITALIA(ミラノ)の1号店開店プロジェクトに参加。帰国後、良品計画に入社し、2014年までMUJIの商品開発に携わる。2014年から現職。著書に2016年「MUJI式世界で愛されるマーケティング」(単著、日経BP社)、「ゲーム・チェンジャーの競争戦略」(共著、日本経済新聞出版社)等。	第7講 マーケティング論 ～「マーケティング」の肝(きも)は、ここにあり マーケットを制する者はビジネスを制する。経営にマーケットの分析と理解、さらにどう対応するかという視点は不可欠です。無印良品(MUJI)におけるマーケティング、競争戦略等に深くコミットされた増田先生だからこそ語れる実例を交えた熱い講義。これから生き抜く中小企業ならではの独自性、ブランド力、思考とは何か？経営者・経営幹部必聴の講義です。
	11月1日(金) 18:00～21:00  アジア中小企業協力機構 理事長（経済学博士） 黒瀬直宏氏 慶應義塾大学経済学部卒業、東京都立大学大学院社会科学研究所修士課程修了。専修大学商学部教授、嘉悦大学大学院ビジネス創造学部教授などを経て、現職。著書多数。2015年「独立中小企業を目指そう」（同友館）を上梓。	第8講 「高付加価値経営」への転換 ～それはいかにして可能か 大きな転換期を迎えている世界・日本経済。戦後の高度成長にあって、高い技術力を持つに至った中小企業ですが、これまでは価格決定権をもち難かった側面も否定できません。しかし、「自分の仕事は自分で作り出せる」、高付加価値の経営へ転換し、価格決定権をもつに至った中小企業も少なからず存在しています。大企業・元請企業依存体質から脱却して、自らの道を切り拓く、これからの「独立中小企業」の経営について、説得力のある実例を交えながら講義いただきます。
	11月22日(金) 18:00～21:00  千葉大学大学院社会科学研究院 准教授 小川真実氏 2003年4月より千葉大学法経学部講師に就任。助教授を経て、2018年4月に千葉大学キャリアセンター長を歴任。現在に至る。〔専攻分野〕会計学・ファイナンス（財務管理・企業財務）	第9講 企業会計の基礎 経営と会計は、密接不可分の関係にあります。自社の財務状況が分からなければ、事業計画も画餅に帰してしまいますし、競争優位に立つことも難しくなってしまいます。中小企業にとって、会計から自社の経営を分析・判断することはとても大切なことです。この講義では、決算報告書を作成する財務会計と経営管理に役立つ管理会計の基礎について、会計学だけでなくキャリア教育の観点も交えて解説いただきます。

単元	開催日時／講師	講義テーマ
IV 法 と 経 営	12月5日(木) 18:00～21:00  ひろしま市民法律事務所 所長 はんどう 椋 大樹 氏 弁護士、広島同友会会員。1975年広島生まれ。中央大学法学部法律学科卒業。2004年弁護士登録。2016年より日弁連憲法問題対策本部委員。2016年6月発行「檻の中のライオン」憲法がわかる46のおはなし(かもがわ出版)が話題に。『檻の中のライオン』講演は、これまで全国13都府県で約100回以上開催。正進社の中学校公民資料集「公民の資料」に掲載されている。	第10講 憲 法 ～「憲法」って、自分たちの生活・経営にどう関わるの？ 日本国憲法は、法の中の法、最高法規であり、国家権力が侵すことのできない人権規定と国の制度の在り方を規定する統治規定から成り立つ公法です。最近では、「憲法改正」、「安保法制」、「立憲主義」、「天皇制」等、憲法に関わる議論がなされています。これらの議論の意義、またそもそも憲法の本質とはどこにあり、私たちの生活や経営にどのような影響があるのか。日本国憲法の現状と未来について、「ライオンと檻」の例えで、目から鱗の分かり易い講義をしていただきます。
	12月20日(金) 18:00～21:00  弁護士法人千代田オーク法律事務所 弁護士 児玉 隆晴 氏 弁護士、東京同友会会員。1982年慶応義塾大学大学院法学研究科修士課程修了、1988年弁護士登録(東京弁護士会40期)、1993年4月児玉隆晴法律事務所開設、2009年1月弁護士法人千代田オーク法律事務所開設(法人化)、千葉県柏市にて柏支所開設。2011年4月～2017年3月東京弁護士会法制委員会副委員長、2012年4月～2014年3月日本弁護士連合会司法制度調査会副委員長。現在、日本弁護士連合会司法制度調査会委員、東京弁護士会法制委員会委員。「やさしく、役に立つ改正民法(債権法)」(信山社出版)等、民法(債権関係)改正に関する著作多数。	第11講 民 法 ～民法の枠組み・改正と今後の課題 民法は私人間を規定する私法を代表する法律です。経営面からも重要な債権(人に対する権利)や物権(物に対する権利)を規定しています。債権の中では、契約が重要であり、世の中で一般的に結ばれる典型的な契約についても民法が定めています。 一昨年、この債権に関わる部分を中心に、民法が120年ぶりに改正されました。この講義では、民法という法律の大きな枠組みの基礎的な理解と、民法の改正点について、経営者であれば知っておきたいという視点から論点をピックアップしてレクチャーいただきます。 経営者や経営幹部であれば、民法の理解は避けては通れません。この講義を機にぜひ民法に関心をもっていただきたいと思います。
V 人 を 生 か す 経 営	2020年1月10日(金) 18:00～21:00  東京大学 名誉教授 堀 尾 輝 久 氏 1933年生まれ。日本教育学会会長、日本教育法学会会長、民主教育研究所代表などを歴任。現在は子どもの権利条約市民・NGOの会代表、9条地球憲章の会代表を務める。1995年、第11回中同協社員教育全国研修・交流会、2017年2月第11回中同協社員教育委員会にて「学習権」と企業における社員教育のあり方について提起。著書として「教育入門」(岩波新書)「現代社会と教育」(岩波書店)「未来をつくる君たちへ地球時代をどう生きるか」(消流出版)などがある。	第12講 学習権を軸とした教育のあり方 経営者・経営幹部にとって、自社の組織マネジメント、とりわけ社員教育には高い関心があるはずです。 日本国憲法では「教育を受ける権利」が保障されていますが、学習する主体の自発性や能動性に着目して「学習する権利」(学習権)と再定義されるようになりました。学習権は、自己実現に直結する権利であることから、子どもだけでなく大人にとっても重要な意義があります。国際的にもユネスコ会議で「学習権は人間の生存にとって不可欠な手段である」とともに「なりゆきまかせの客体から、自らの歴史をつくる主体にかえていく」ための重要な権利であると宣言されています。働く場における学習権を軸にした社員教育、社員共育とは、いかにあるべきか。経営者・幹部必聴の講義です。
	1月24日(金) 18:00～21:00  神戸大学 名誉教授 二 宮 厚 美 氏 専門：経済学。「生きがいの構造と人間発達」などの著書もあり、経済学と人間発達のかかわりについても深め、同友会大学・千葉県経営研究集会・社員教育全国研修交流会の講師としてたびたび登壇。	第13講 人間発達と労働の役割 人間にとって「働く」ことの本質意義とは？働くことと人間の発達とは、どのような関係があるのか。「やる気」は、どこから生まれてくるのか。いきがい、やりがい、はたらきがいと人間の発達との関連性は？人間の発達と労働の関係を科学的に分かり易く分析する迫真の講義が注目を浴びています。 経営者、経営幹部だけでなく、世の中で働くすべての人に聴いていただきたい講義です。
総 括 講 義 ・ 修 了 式	1月31日(金) 18:00～21:00  同友会大学 学長 中小企業家同友会全国協議会 会長 広 浜 泰 久 氏 株式会社ヒロハマ 代表取締役会長 創業/1951年、資本金/6250万円、社員数134名(内パート・アルバイト40名)、事業内容/18L缶、パール缶等缶用パーツ製造・販売、年商/39億円。	第14講 総括講義・修了式 ～中小企業の未来と私たちの役割 業務用一斗缶の缶キャップを製造する専門メーカーとして、全国No.1のシェアを誇る(株)ヒロハマ。「缶の社会貢献を全面的に支援する」という経営理念のもと、オリジナル商品を生み出し業界リーダーの地位を確立しています。理念・方針・計画を明確に示し、週単位でPDCAを社内に徹底するなど、一人ひとりが自分の目標を持って輝ける会社作りを実践しています。広浜氏の経営実践から私たち中小企業の活路を探ります。

● 第9期 同友会大学 申込書 ● ※受講されるご本人の情報をご記入ください。 申込先：千葉県同友会事務局 FAX 043-222-8207

会 社 名 () お 名 前 () 役 職 ()

電 話 () メールアドレス () ☐ 全 14 講義 ☐ オープン講座のみ

◇本登録内容は行事設営のために千葉同友会管理の下に参加者名簿などに活用されます。◇本行事の様態を撮影・録音し、記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させて頂くことがあります。参加者の皆さんの写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら千葉県同友会事務局まで事前にご連絡ください。